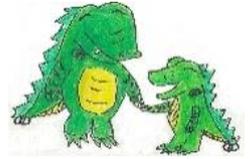




和邇小

ニュースレター

NO.1



2024.5.13 文責 西村 由香

連休明け「また頑張ろう！」のスイッチ

新年度がスタートして、1か月。新しい学年、新しい先生、新しい友だち。はじめは、期待や不安を抱えていた子どもたちも、新しい学年での生活に少しずつ慣れ、気持ちも新たに、生き生きと学校生活を送る姿が見られます。

新しい環境でやる気と緊張を抱えての一日一日は、大人が思っている以上にずっと大変なことだと思います。それでも、笑顔で元気に登校し、新しい学びや友だちとの出会い大切にして、本当によく頑張っています。新しいことに挑戦し、一歩ずつ自分の足で乗り越え、自分の足跡をふり返り、達成感を味わったり、試行錯誤しながら次に向けて考えたりすることで、心が強く、そして豊かに成長していくことと思います。ぜひ、子ども達がお家に帰ったら、その頑張りをたっぷり褒めてあげてください。明日への原動力につながっていきます。

さて、連休は心も体も休めて、「また頑張ろう！」とスイッチを入れることができるお休みになったでしょうか。5月の連休明けに心身のバランスを崩してしまうこともあります。学習に加えて行事に向けての活動など、学校生活の変化や気候の変化などが重なる時期です。環境の変化に適応していくには、想像以上にエネルギーが必要です。

お子さんの「様子がいつもと違う」など、変化に気づいたら、「元気がないみたいだけど、どうしたの？」と、まずは気にかけていることを言葉にして伝えてください。とくに思春期の子は「弱みをみせたくない」という気持ちが強いので、だれにも話さずに抱えてしまいがちです。気になることがあったらお家の方から話しかけてみてください。じっくり話を聞いてあげるだけでもストレスや不安の軽減につながります。

✧子ども達に身につけて欲しい2つのスキル✧

①「困ったときは人に相談する」というスキル

②「ストレス解消法をつくる」というスキル

生きている限りストレスは続きますし、残念ながらなくすことはできません。だからこそ、上手に付き合うスキルを身につけて欲しいです。お子さんのことで、少しのことでも気になることがありましたら、担任や学校にご相談下さい。

「つづい」	その一言で	風が立ち
その一言で	がっかりし	
その一言で	腹がたち	
その一言で	泣かされる	
その一言で	励まされ	
その一言で	夢をもち	
その一言で立ち上がる		
本当に大事なひとと言ふ		

お子さんの携帯・通信機器の利用

どこまで知っていますか？

相手に許可なく個人情報を与える、また、写真や動画を撮影する。LINEでの言葉の行き違いで話がこじれたり、決まったグループ内でうわさ話をし合ったりするなど、「いじめ」につながる状況に発展した事例が4月から度々起こっています。

子どもたちは、大人と同じように正しい判断のもと、携帯や通信機器を利用することができません。「何も考えずに」「楽しい気持ちが勝ってしまった」など、未熟なままにトラブルを起こしてしまったり、巻き込まれてしまったりする例が後を絶ちません。携帯や通信機器を管理する責任はご家庭にあります。どんな内容がやり取りされているのか、お子さんとしつかり話をし、大きなトラブルからお子さんを守ることは家庭の役割です。学校では、各学級でタブレットや通信機器の利用の仕方について指導するとともに、情報モラル教室の開催などに取り組んでいきます。ご家庭においても、家庭で決めたルールは守られているか、「(家の人に)正直に伝えられないことはしないように。」など、今一度、確認して頂ければと思います。



わにっこり

「わにっこり」

わにっこりが持っているのは、「わにっこり」↑「SAYONARA」



本年度、和瀬小学校の児童一人ひとりが、力を伸ばし成長していけるようサポートして下さる先生方を紹介させていただきます。

昨年度より来校頂いています、SC（スクールカウンセラー）の内藤もも子先生と、本年度より県からの活用事業で来校頂くSSW（スクールソーシャルワーカー）の増田譲治先生です。

※それぞれの先生方からの自己紹介もありますので、ご覧ください。

★教育相談の充実を目指して、SC（スクールカウンセラー）や、SSW（スクールソーシャルワーカー）が配置されています。

SC（スクールカウンセラー）とSSW（スクールソーシャルワーカー）のそれぞれの役割について

SCとSSWは、どちらも子どもや保護者に対する相談活動を行います。そして、教員と一緒に解決策や支援の在り方を考えていきます。その際、SC（心理）とSSW（福祉）はそれぞれの専門性にもとづいた助言や支援をおこないます。

SCは心理の専門家です。カウンセリングなどにより、その人の気持ちに働きかけて望ましい状態になるよう、寄り添っていきます。

SSWは福祉の専門家です。その人がおかれている様々な環境面（親・友だち・先生との関係、学校や家庭での状況等）を考えて、望ましい状態になるように、問題の解決策を考えていきます。

SCとSSWはそれぞれの立場から支援をおこないます。また、協力してより良い方向へ導けるよう問題の解決に努めていきます。

子どもの6年間の成長は“あっという間”です。低学年は、何事も一生懸命。子どもらしく、かわいい姿を見せてくれます。「みんな仲良し。友だちと関わるのが楽しい。」という時期です。そこから段々と自分の身の回りのことができるようになり、興味関心や交友関係が広がっていきます。高学年になってくると、自分と周りの友だちとの違いに気づき、改めて“自分ってどんな存在なのかな？”と考え始める時期がやってきます。自分のことを模索する中で、考えたり悩んだり、イライラすることもあるかも知れません。お子さんの成長とともに、悩むことや親子で戸惑うこともたくさんあると思います。「これで大丈夫かな？」「上手くないのは自分だけ・・・。」と不安になったり、一人で抱え込んでしまったりすることもあるかも知れません。

SCやSSWは子どもたちと保護者の方の「困っていること」「心配なこと」に対応、支援していきます。子育てのこと、お子さんへの関わり方、友人関係、家族関係、勉強のこと、心身や心のこと、学校に行きたくない、ゲームが止められない、・・・など、どんなことでもご相談くださって大丈夫です。気軽に声をかけてください。

.....

★ご相談がある方は、担任や学校にご連絡ください。相談日を調整させていただきます。